

継続

アジアにおける持続的な物流システムの構築 Development of the sustainable and reliable logistics system in Asian region	
対象国の条件 : アジア各国	
研修コース番号 : 201984568-J002	
案件番号 : 201984568	
主分野課題 : 運輸交通/国際交通	
副分野課題 :	
使用言語 : 英語	
案件概要	
現在、物流政策は社会や共同体、経済の持続的な発展に積極的に貢献することが期待されている。例えば、2016年のパリ協定の締結に象徴されるように、二酸化炭素排出の削減は世界の政策担当者にとっての至上の政策課題となっており、政府も二酸化炭素の排出量の20%以上を占める運輸セクターの変革を促す必要がある。また、アジアの食物廃棄の60~90%は消費段階ではなく製造・流通段階で発生しており、消費者に対する安定的かつ安全な食の供給の観点からアジアにおける輸送や倉庫には多くの改善の余地がある。このような中で、各国政府においても、物流システムの効率化や信頼性の向上について責任を持って推進していく必要がある。 本研修では、近年急速な経済発展を遂げているアジアにおいて、経済成長と持続可能な社会の両立に向けて、政府に対して効率性かつ環境に優しいグリーンな物流システムとコールドチェーン物流システムの信頼性の向上のためのアクションをとることを支援又は促すこと目的とする。内容としては、例えば我が国及び参加国の（コールドチェーン）物流システムの現状に関する講義、様々な物流サービスや施設への実例についての現場視察や、自国又はアジアでの物流政策の将来のアクションプランに関する議論を含む。	
目標／成果	対象組織／人材
【案件目標】 研修員がこのコースを通じ、自国もしくはアジアにおける物流システムにおける課題を特定し、その改善に向けた解決策（アクションプラン）を提示する。 【成果】 1. 自国又はアジアにおいて、効率的かつ環境に優しい物流システム及び高品質なコールドチェーン物流システムの構築に向けた課題を特定する。 2. 効率的で信頼性の高い物流システムの確立に向けた政策の内容と、その具体的な内容を講義・現場視察を通じ、理解する。 3. 自国あるいはアジア地域における物流システム改善に向けたアクションプランを作成する。	【対象組織】 物流行政に関わる省庁（いかなる種類の物流を含む。） 【対象人材】 【職位】政府あるいは公的機関で物流に携わる事務官で、アクションプランを提案できる権限を有する者（係長と同等以上） 【職務経験】現在物流政策に携わっている又は物流政策分野で3年以上の経験を有する者（陸・海・空・複合・フォーワーディング、倉庫等幅広く含む。ただし、単なる道路や建物の建設、旅客輸送に限らないのが望ましい。） 【資格要件／その他】十分な英語能力を有する者
内 容	2019/5/12～2019/6/8
1. 自国あるいはアジア地域における物流システムの現状・課題をインセプションレポートの形で整理し、他の研修員との共有・意見交換を通じ、今後の解決策のヒントを探る。 2. 日本における効率的かつ環境に優しい物流システム及び高品質なコールドチェーン物流システムについて、講義や現場視察を通じ、理解を深めるとともに、自国又はアジアにおける導入の可能性について検討する。 3. 自国あるいはアジア地域における物流システム改善に向けたアクションプランを作成する。 他の研修員との共有・意見交換等を通じ、実現可能性を高める。	本邦研修期間
	担当課題部
	社会基盤・平和構築部
	所管国内機関
	JICA横浜
	関係省庁
	国土交通省（運輸）
	実施年度
	2018～2020
主要協力機関	・一般社団法人海外運輸協力協会
特記事項 及び ホームページ	